

平成18年度老人保健事業報告書

**地域生活の視点から見た介護予防要因および
予防的介入効果の検証と普及に関する研究事業**

平成19年 3 月

社会福祉法人 東北福祉会



認知症介護研究・研修仙台センター

目 次

はじめに

認知症介護研究・研修仙台センター センター長 加藤 伸司

地域生活の視点から見た介護予防要因および

予防的介入効果の検証と普及に関する研究事業…………… 1

認知症介護研究・研修仙台センター 加藤 伸司 浅野 弘毅
阿部 哲也 矢吹 知之
吉川 悠貴

■研究の目的と概要…………… 1

■加齢と健康に関する縦断研究の追跡調査

—気仙沼大島住民の4年後の追跡調査—

「調査目的」…………… 3

「調査方法」…………… 3

「調査結果の概要」…………… 4

「調査結果」…………… 7

1. 対象者の属性…………… 8

2. 一般健康状態…………… 14

3. 健康状態に関する自覚…………… 32

4. 日常生活状況…………… 50

5. 生活習慣…………… 64

6. 食事・栄養摂取状況…………… 84

7. 予防因子等…………… 132

8. 日常活動状況…………… 148

9. 対人交流…………… 158

10. 社会活動…………… 188

11. ライフヒストリー・老性自覚等…………… 196

12. 福祉・介護サービス状況…………… 214

13. 縦断的介入プログラム参加群と非参加群の比較…………… 232

■地域介入のあり方とその効果に関する研究…………… 255

「目的」…………… 255

「方法」…………… 255

「結果と考察」…………… 258

■研究事業全体のまとめ…………… 273

■巻末資料…………… 275